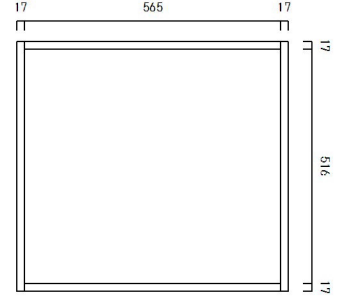
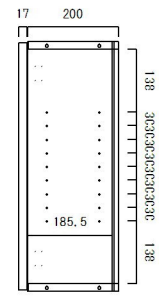
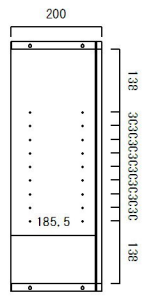
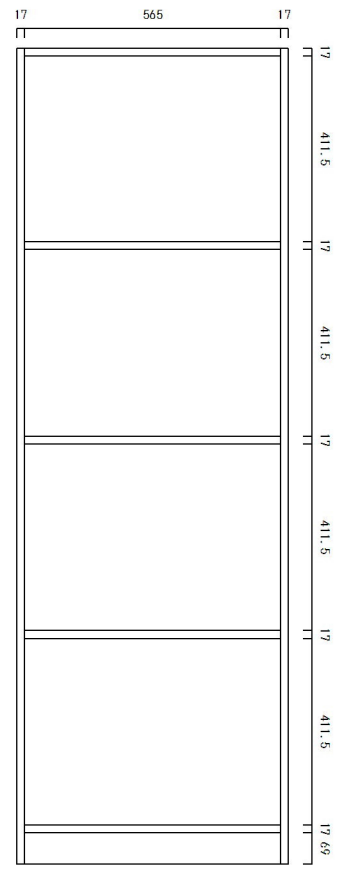
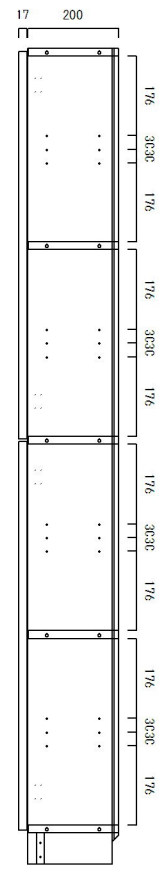
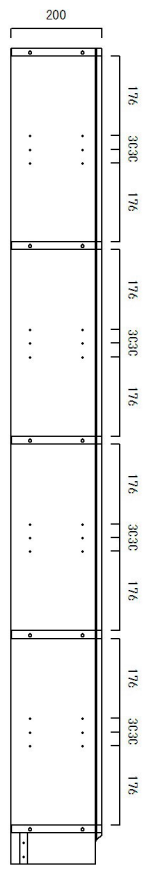
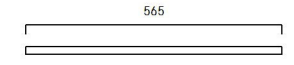
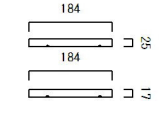
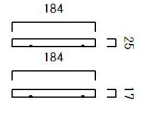
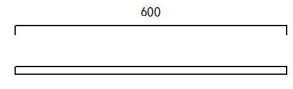


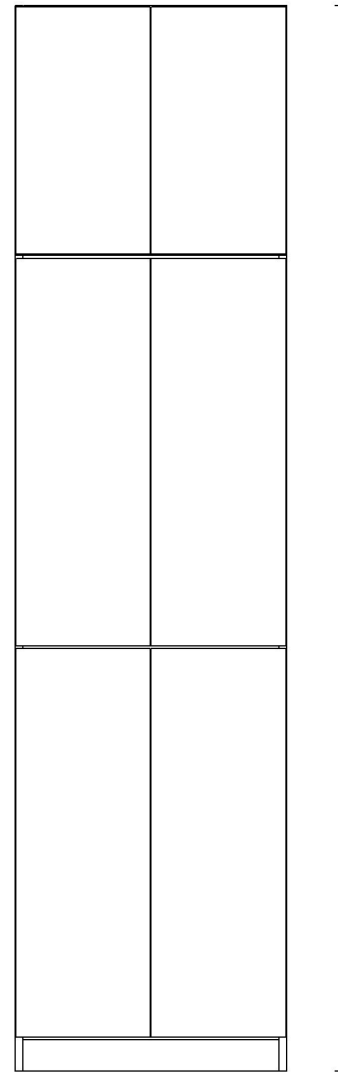
あて板



上置



本体



2396

BCM-60

BCM-60T

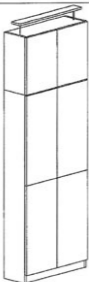
BCM-60

BCM-60T

薄型書棚(W-600) 扉タイプ (BCM-60T・BCM-63T)

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
下記のように組み立ていただきご使用ください。

- (注) ① 組み立て前には必ず部品数をご確認ください。
ビス等、部品が足りない場合は半信の部品をお使いください。
また組み立てる際には、扉、棚板等に傷がつかないように、
レジャーシート等を敷いて組み立て下さい。
- ② 棚板の穴は、それぞれ使用しておりますビス及び木ダボのサイズ
に合わせてあげられております。棚板の材質により多少かたつき感
られる箇所もありますが、ビスはかたく締まるまで、木ダボは棚板
と部材の間にすきまがでるように組み立ててください。
- ③ ドライバーはビスのヘッドに合ったものをお使いください。
ヘッドの合わないドライバーを使用しますと、ビスが完全に
締まらず緩みの原因になるおそれがあります。
またビスは閉めすぎると変形してきかなくなる場合があります。
ご注意ください。
- ④ ハンマーをお使いになる場合は、古新聞等をあてその上から
たたいてください。直接たたきますと破損するおそれがあります。

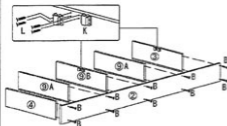


① 左側板
② 右側板
③ 天板
④ 地板
⑤ 背板A
⑥ 背板B
⑦ 上置右側板
⑧ 移動棚
⑨ 中棚A
⑩ 中棚B
⑪ 上置左側板
⑫ 上置右側板
⑬ 左下扉
⑭ 右下扉
⑮ 左上扉
⑯ 右上扉

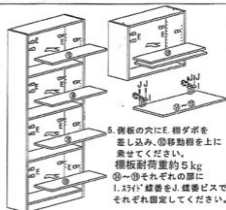
⑰ 当て板
M. ラッチ受け 6個
N. ラッチ本体 6個
O. ラッチビス 36本

J. 蝶番L×1 72本 (+予備 1個)	K. ラッチ本体6個	L. ラッチビス 36本	
G. 7寸×23- 2ヶ	H. 7寸×18 2ヶ	I. 1.5寸×18 蝶番 12個	
部品名 A. ボンド 1個	B. ビス 28本 (+予備 1個)	C. 7/16インチ(小) 4本	D. 7/16インチ(大) 1本
		E. 木ダボ 24個 (+予備 1個)	F. 木ダボ 2本

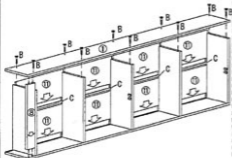
薄型書棚 (W-600) 扉タイプ (BCM-60T・BCM-63T)



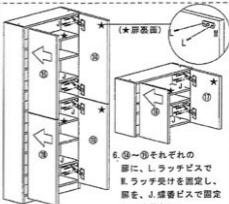
1. ③天板と、⑤B中棚の裏面にLラッチビスを使ってKラッチ本体4個を固定してください。
②右側板に③天板、④地板、⑤中棚をBビスで固定してください。



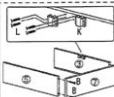
5. 側板の穴にE組ダボを差し込み、⑩移動棚の上にのせてください。
棚板耐荷重約5kg
⑨~⑪それぞれの扉に1.5寸径線番をJ線番ビスでそれぞれ固定してください。



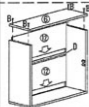
2. ①背板AをCジョイント(小)でつなぎ、棚のミゾに沿って差し込んでください。
側板に③台輪をAボンドを使って固定してください。
①左側板をBビスで固定してください。



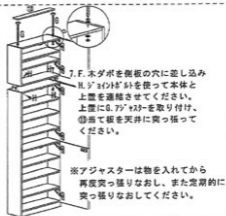
6. ④~⑥それぞれの扉に、LラッチビスでKラッチ受けを固定し、扉を、J線番ビスで固定してください。



3. ③天板の裏面にLラッチビスを使ってKラッチ本体2個を固定して下さい。
⑦上置右側板に③天板、⑤上置地板をBビスを使って固定してください。



4. ①背板BをDジョイント(大)でつないで棚のミゾに沿って差し込んでください。
⑥上置左側板をBビスで固定してください。

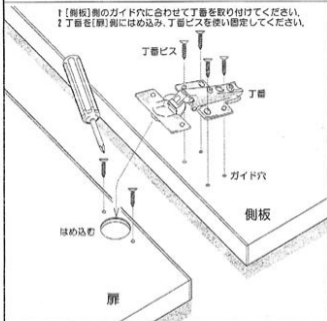


7. F木ダボを側板の穴に差し込みHジョイント(大)を使って本体と上置を連結させてください。
上置にGアジャスターを取り付け、⑧当て板を天井に突っ張ってください。

※アジャスターは物を入れてから再度突っ張りなおし、また定期的に突っ張りなおしてください。

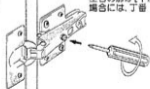
丁番の取り付け方

- 1 [側板]側のガイド穴に合わせて丁番を取り付けてください。
- 2 丁番を[扉]側にはめ込み、丁番ビスを使い固定してください。



扉

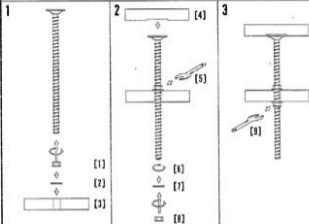
左右の扉が[干渉]していたり、[崩れ]過ぎている場合には、丁番「中央」のネジを、調節してください。



側板

※ネジを締めると、扉は内側へ動きます。

【突っ張り用具】取り付け方法

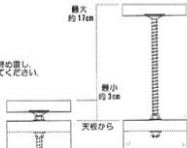


- 1 突っ張り用具にナット[1]、ワッシャー[2]を取り付け、天板[3]に差し込んでください。
- 2 あて板[4]を奥せ、ボルトをスパナ[5]で固定し、突っ張り用具を調節し[6]天井に当て、ワッシャー[7]、ボルト[8]を取り付けてください。
- 3 スパナを使い、ボルトを締め[8]固定してください。

突っ張り用具(転倒防止)の有効高さは、天板の高さから、約3cm～約17cmとなります。

△ご注意ください△

突っ張り用具は、組み立て後に締め直し、また、定期的に締め直すようにしてください。



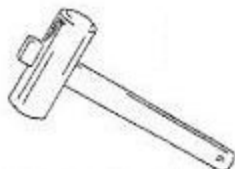
はじめに

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本説明書をお読みいただき、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
なお、本紙は保管して使用説明等を時々読み返していただき、ご使用ください。

準備する工具



プラスドライバー



木製又はゴム製ハンマー

組み立て上のご注意

- スペースのある場所で組み立ててください。
- 照明器具や床、カーペットにキズを付けないようご注意ください。
- 木製ですので、安全のため手袋を使用されるとより安全です。
- ビスを止める時は最初はゆるく組み立て、完成後にビスを強く締めてください。
- 組み立てる際、指を挟まないようご注意ください。
- ボンドを使用する際は風通しの良い場所で組み立てるようにしてください。
- 各ビスに合ったプラスドライバーをご使用ください。
- 組み立ては必ず水平な場所で行ってください。

使用上のご注意



- 本製品は収納を目的とした商品ですので、それ以外の用途でのご使用はなさないでください。
- 危険ですので傾いた所でのご使用はなさないでください。
- 火気の近くでのご使用は危険ですのでおやめください。
- 片寄った荷重や耐荷重以上の重い物を乗せないでください。
- ネジがゆるむことがあります。時々締めなおしてください。
- 各ビスに合ったプラスドライバーをご使用ください
そのまま使用すると大変危険です。
- 無理に製品をひっぱったりすると床等にキズを付けますので
お取扱いには充分にご注意ください。
- プッシュ式の扉の商品はマグネット・ラッチの近くを押して、扉を開閉してください。
- アジャスターが付いている場合、定期的にはゆるんでないか点検し、
ゆるみはじめたらしっかりしめ直してください。ゆるんだまま使っていると
家具が転倒して、ケガをすることがあります。